

前月比	
人口	74,551(-119)
男	35,640
女	38,911
世帯数	19,980(-3)

# おおだて

3月号 (No. 200)

編集と発行 — 大館市役所  
(電話) 2-1212  
発行年月日 — 昭和49年3月1日  
発行日 — 毎月1日

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかったり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。

昭和43年3月1日第3種郵便物認可 (1部5円)

教育行政の基本は子どもの幸福をたいせつにすることです。子どもの幸福のためには良い教育環境をととのえることがたいせつになります。そのため市としてはこれまで将来の展望に立って、南中学校、東中学校の統合と新校舎の建築を実施してきました。また、城西小、城南小、桂城小などの新築によって教育の向上のために努力を続けてきました。

このたびは二井田小学校、真中小学校、杉沢小学校の3校が統合し、昭和51年4月1日から新しく「南小学校」として発足することが去る48年9月9日の議会で決定されましたので、ここに改めて、3校統合による教育効果、統合により予想される問題点、地域住民との話し合いなどの概略をのべて、市民の皆様のご協力を得たいと思います。

## ◆ 統合による教育効果

### ◆ 南小学校は適正規模校

- この学校は学区の範囲、児童数、学級数(13~14学級)から考えて教育効果をあげるための適正な規模です。
- この統合は文部省、県教育委員会の指導方針に添うものです。  
児童数 — 約420名 (昭和51年度)  
学級数 — 13~14学級  
1学級 — 30~36名  
職員数 — 教員17名  
(現在の配置基準による) 事務職員1名  
養護教諭1名

統合によって教育水準を向上させ、学校経費の合理化をはかっている地域は多々ありますが、近隣の例では  
鷹巣町 12小学校 → 7小学校  
鹿角市 6小学校 → 1小学校

統合によって期待される教育効果はいろいろ考えられますが、そのおもなものを次にあげてみます。

### ◆ 新しい教育にふさわしい設備をそなえて子どもたちの学習意欲をたかめることができます。

当市の場合、新築された学校は施設、設備がぐんと充実されております。南小学校の場合も同様になります。

教育の現代化のための教育機器の導入や特別教室の充実により教育内容、教育効果の向上、児童の学習意欲の高まりが期待されます。

施設・設備の一部として次のようなものを考えています。

### ○教育機器の導入による教育の現代化

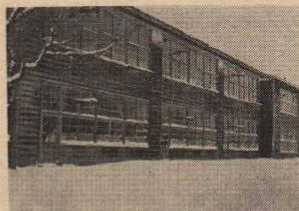
- ・集団反応分析装置 (アナライザー) を設置した教室、その他の機器

### ○特別教室の充実

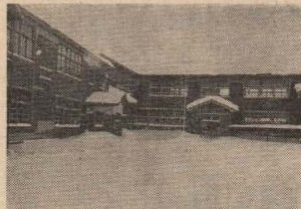
- ・理科、家庭科、音楽、図工、資料、視聴覚室など

### ○健康の増進と保健管理

- ・プールの新設、保健室、水洗便所、プレイルーム (低学年の遊戯室)



(杉沢小)



(二井田小)

### ◆ 適正規模学校の利点

各学年2学級になると次のような利点があり、児童の学習意欲の高まり、教育効果の向上が期待されます。

- ▽児童数が多く互いに刺激しあうことで全体的に向上します。
- ▽学級相互間の刺激による学級の向上 — 全校の向上につながります。
- ▽同学年に2名の教師がいることにより  
・教材研究の深化 → 学級での指導の深まり → 児童の向上

○お互いの得手、不得手を補ってよりすぐれた教科指導がなされます。

○教科課題、練習問題の作成の分担 — 労力の軽減 (あまった時間は児童の指導にあてられる) と内容の深化。

○学年事務の分担による軽減を児童の指導にまわすことができます。  
子どもたちによる活動の場が多くなります。

児童数がふえることによって児童会の組織やクラブの種類などにも影響を与えるようになります。1学年2学級の学校になるとかなりの種類のクラブをつくるのが可能になります。子どもたちは自分の能力や好みにあったクラブを選択することができるので、いっそう自主的な活動を行うことができるようになります。また、広い範囲の多くの友人と接することにより経験が豊富になり、学級活動などが活発になり、児童会活動の向上も期待されます。

このように教科学習とは違ったふんい気の中でのびのび集団活動をおくり、子どもたちが自分たちの手でより多くの活動できる場を設定していくことは未来にのびる能力をはぐくむことにもなるのです。

### 事務職員と養護教諭の配置

#### ○事務職員

・これまで教師が分担していた事務はほとんど事務職員にまわることになり、教師の学級指導やその他児童と接する機会がそれだけ多くなります

#### ○養護教諭

・児童の健康管理、保健指導の徹底、(この面での学級担任の負担が軽くなります)

## ◆ 統合により予想される問題点

統合により予想される問題については慎重に対策を考えて参ります。

### ◆ 生活指導について

統合によって生活指導面の問題がおこるのではないかと心配をもちたれる方もおられるようですが、教員数がふえることにより分担による指導内容の深まりが期待され、実践指導も徹底するものと考えられます。

校外生活指導面については通学範囲が広くなり問題点なし、とはいえませんがこれは学校と地域の人達 (PTA補導部員などを中心として) の密接な連携によって指導の効果があがるものと考えられます。PTA、青少年指導関係者などを中心としてなされなければならない問題で、他地域でも校外生活指導がうまくいっている所はみな、この連携がうまくなされているのです。

### ◆ 通学について

通学の上から無理な統合ではないかとの考えをお持ちの方もおられるようですが、実態は次のとおりであり無理な統合ではありません。最遠隔地の合地前田で4.2kmでいのです。

＜南小予定地より3km以上の地域＞

通学距離	二井田	真中	杉沢
3km~4km	下村川原・川向	小橋大倉団地	
4km以上	下村前田野	板沢	合地前田、大子内

交通問題、通学の方法については今後とも検討を重ねて参ります。

▽通学に便利な定期バスの確保につためバス路線については慎重に検討します

△二井田、板沢間の県道の歩道増設に努力してまいります (現在一部工事中)

▷二井田地区に県道以外の通学路新設

▽その他の地区は市道農道など通学道路の整備に努めます。

▽通学費補助金は、4km以上の通学該当者に通学費全額を支給します。

## ◆ 地域住民との話し合い

統合は長い間話し合われ、議会では慎重な審議によって決定されたものです。

(地域住民との話し合い)

年月日	場 所	参 会 者
46.11.12	南中学校	二井田、杉沢、真中地区の住民
46.11.17	杉沢小学校	杉沢学区町内役員
46.11.18	二井田公民館	二井田学区町内役員
46.11.19	真中公民館	真中学区町内役員
46.12.6	杉沢小学校	杉沢、学区PTA、部落役員
46.12.6	二井田公民館	二井田学区PTA、部落役員
46.12.22	真中小学校	真中小PTA
47.7.11	真中公民館	真中地区区長会
47.9.3	真中公民館	真中地区区長会
47.10.28	市役所	真中各界代表
48.4.20	杉沢小学校	杉沢各界代表
48.4.20	二井田小学校	二井田学区住民16名
48.4.28	真中小学校	真中各界代表
48.6.7	真中公民館	真中地区区長会
48.6.11	市長室	守る会代表
48.6.23	中央公民館	真中、二井田、杉沢の学校長、PTA会長、同窓会長、公民館長等
48.6.30	市長室	真中区長会代表、3学区出身市会議員
48.7.24	真中小学校	真中小学校PTA約100名
48.8.8	二井田公民館	二井田地区住民17名
48.8.10	真中公民館	真中地区の住民24名
49.1.31	市役所	3校校長、PTA正副会長
49.2.14	南中学校	3学区住民約40名



(真中小)

## ◆ 跡地、校舎の利用は…

3校は創立以来、長い年月を経ており地域住民の心のふるさとなっているため学校に対する愛惜の念は強いものがあります。この点からも校舎ならびに跡地の問題についてはそれぞれの地域から要望もあり、慎重に対処すべきものです。子どもたちからご婦人、青年やおとしりの方々までのことを考え、地域市民の教育活動に生かしてまいりたいものと思っています。

## ◆ おわりに

南小学校の創設のために関係地域の方々とは今後とも話し合いの機会をもち、ご要望、ご意見を承り、南小学校が南中学校とともに地域の人達の新しい文教の中心となり、子どもたちの夢を大きく育てる場となることを期したいものです。なお、南小学校の施設、設備に関しては、決定しだい、そのつど広報などに掲載していきます。